

# いつも一緒 富山のペットたち

行楽シーズンとなりました。

最近ではペット同伴で泊まれるホテルやペンションなどの宿泊施設が増え、「小さな家族」と共に出掛ける方が多くなっています。今回はペットを連れて遠出した場合、特にワンちゃんを通して遭遇する可能性のある感染症について紹介します。



野生動物

が行き来する場所や、川遊びなどで河川の水に接触する場所を訪れたときは、レプトスピラ症に注意が必要です。レプトスピラ症は人獣共通感染症の一つで、国内では犬レプトスピラやワイルド病、秋疫などが挙げられます。

病原性レプトスピラ菌は、ネズミのような齧歯類などの野生動物が多く持っていると考えられます。感染した動物の多くが保菌動物となり、腎臓に定着して尿中に排出されます。尿で汚染された土壌や水に接触し、口、皮膚などから体内に入ると、犬や人に感染します。

犬のレプトスピラ症は、高熱や食欲不振、結膜の充血、嘔吐、下痢、血便、黄疸、口の粘

## 行楽地での注意

アイビー動物病院院長  
(射水市戸破)

宮川 慎



河原ではレプトスピラ症に注意が必要。ワクチンの接種で予防できる

膜の出血状態などが見られます。末期には脱水や尿毒症を起こし、ひどい場合は発病後わずか数時間から数日で死亡します。

ワクチンがありますので、予防接種を受けることもできます。お近くの動物病院で相談ください。

人が長距離を移動する機会が多くなったことで、今まで風土病として限られた地方で見られなかった病気が全国に広がった例もあります。エキノコックス感染症という寄生虫病が一時騒がれたことがありました。体内に寄生すると、肝臓の中で腫瘍のような形をしたもの

ができます。進行すると致命的な症状になることがあります。もともとは北海道で見られた病気ですが、本州へと広がっていきました。

料金割引制度により高速道路を利用する方が増え、サービエリアでワンちゃんを連れていく方が多く見られるようになりました。長い距離を移動したら、人も動物も休憩が必要になります。しばしば、その辺で用を済ませているワンちゃんを見掛け

「うちの子は人が大好きだから」「かんだことがないので」という理由で、リードを付けずに歩かせることは控えましょう。抱っこするときはリードを付けるなどして、事故が起こらないように注意してください。

旅行先では、ぜひとも正しい知識と正しいペットライフを心掛け、楽しい思い出をつくりましょう。

◇「いつも一緒 富山のペットたち

# 川遊び後 シャンプーを

ちは、毎月第1木曜日に掲載します。

ます。サービエリアは山の中にあることが多く、先ほど述べたレプトスピラ症やほかのウイルス感染症になったり、野生動物が持っている寄生虫が感染したりする可能性が否定できません。ワンちゃんの排せつはできるだけ出掛ける前に済ませ、旅先ではペットシートを利用するなどの対策を取ると良いでしょう。

最後に、マナーの話になります。公共の場所では、動物が嫌いな方もいらっしゃると思います。人がたくさんいる所や知らないワンちゃんと出くわす所では、ワンちゃんは気持ちが高ぶってしまっていることがあります。